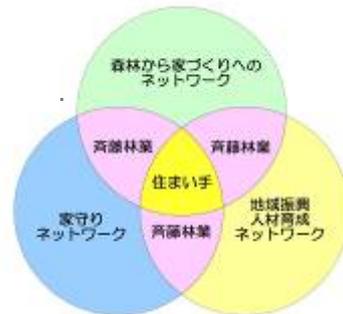


提案名	「ぐんま森林物語」～森林資源活用と地域振興・人材育成ネットワーク～	分野	木造等循環型社会形成の分野に係る提案
提案者	株式会社斉藤林業	種別	システム提案
構造	木造（在来軸組）	建て方	一戸建ての住宅

■ 提案の基本的考え方

「森林資源活用と地域振興・人材育成ネットワーク」

弊社は地元群馬の林業家として50年以上の歴史を持ち、林在地からの一貫生産としての住宅供給を25年前から行ってきた。今回の提案では、従来から取り組んでいた地産地消の家づくりに加え、住まい手を中心とした3つのネットワーク（森林から家づくりへのネットワーク、地域振興・人材育成ネットワーク、家守りネットワーク）を複合的に形成し、家づくりを出発点とした循環型社会形成のネットワークを整備する。このネットワークを活用した家づくりにより、住まい手の森林保護、育成への意識向上が図られ、長期優良住宅の普及促進に寄与するものとする。



■ 提案内容

「森林から家づくりへのネットワーク」

森林資源の有効活用、森林育成への取り組み、山林と住まい手相互のコミュニケーションをまとめ、森林から家づくりへのネットワークとして整備した。森林資源の有効活用としては、バイオマス乾燥炉による木材乾燥工程で発生する木酢液や燃焼灰の再利用を行い資源の有効活用としている。木酢液は植物の活性剤や防虫・防腐に使われ、燃焼灰は土壌改良剤として利用される。これらは地元農家、高校へ無償提供する事とした。また、森林育成支援として、山林所有者への育成支援金制度を行う事とした。さらに、山林と住まい手のコミュニケーションの一環として、山林所有者の上棟式参加、森林体験ツアーや大黒柱GET大作戦などの体感イベントを行っていく。



「地域振興・人材育成のネットワーク」

地元高等学校と協同し、建築技術研修をはじめ、農業研修、林業研修に協力し将来へ向けた人材育成に取り組む。また住まい手には、契約時に本事業への参画意識及び、木材、森林への関心、マイホームへの愛着をお持ちいただく事を趣旨として、緑の募金への協力を呼びかけるこれにより、地域社会の活性化と一体感の醸成を図る。



研修の様子

「つくり手と住まい手による家守りのネットワーク」

電球の交換方法や、夏場、冬場の住まい方など、より生活に密着した提案を巡回にて行う事で、住まい手の主体的な家守りをサポートし、長期に亘る維持保全を行う。



メンテナンスの様子

その他先導的提案として以下をおこなう。

構造躯体の耐久性 住宅の耐震性

- ・ 自社乾燥工場により乾燥を行った構造材・羽柄材の使用
- ・ 含水率、ヤング係数の測定、記録
- ・ 全棟地盤調査実施と共に、地形起源の地名、旧地形図 植生などを調査した報告書の作成



自社木材乾燥工場と乾燥された木材の様子

内装設備の維持管理の容易性

- ・ 建物レベルチェックシステムによる地盤沈下や建物変形 状況の確認
- ・ 床下有効高さ 550 mm確保によるメンテナンスの容易性
- ・ さや管ヘッダー方式の採用による更新の容易性



床下空間の様子とサヤ管材料

長期に利用される躯体において対応しておくべき性能

- ・ 地域の気象特性に配慮した設計指針による建物計画 及び外構計画
- ・ CASBEE【戸建】の利用による全棟格付評価
- ・ Q値、 μ 値、C 値の算定及び測定



地域に配慮した建物設計指針と CASBEE 評価書

居住環境（まちなみ形成）

- ・ 市町村象徴花木を用いた植栽による景観配慮
- ・ 木レンガ、ウッドチップ、を使った外構提案



木レンガを使った外構と記念植樹

維持保全計画等の作成

- ・ 住まい手による家守りバックアップシステム
- ・ 長期に亘る維持管理計画の作成、実施記録の保管
- ・ 設計図書、修繕記録の第三者による記録保管
- ・ メンテナンスボックスによる点検、修繕記録の 住まい手保管



点検風景とメンテナンスボックス

■ 提案者からのコメント

今回の提案は、弊社が以前より行ってきた地産地消の家づくりと、よりお客様と密着した地域工務店としての取り組みを発展的にまとめたものである。

今回、先導的モデル事業として採択された事により、今までおこなってきた様々な取り組みへの姿勢が評価されたと認識し、「良いものをつくって長く住む」という本事業の趣旨に則り、木造循環型社会形成及び長期優良住宅の普及促進に寄与していくものと考えている。

代表取締役 齋藤 英之